

社說

明年度の豫算

來年度の豫算は何程の高に達す可きや未だ明白ならざれども遞信文部を始めとして外務、内務、農商務等執務を多め少難易を擴張する見込のよしにて其要求額を合すれば凡そ四千萬圓も増加す可しと云ふ當局者は果して此要求を容るゝや否や本年度の豫算すら既に少なからぬ金高にして歳入不足を告げ資金公債等にて漸く遺縫りしたる程の次第なれば此上四千萬圓の増加に隠するは容易ならぬ事なれども然れども其費用にして眞實國の進歩に必要であれば慢に削除す可きに非ず財政は豊ならずと云ふと雖も國民は貧乏に非ず増税に堪へるの餘力あるは明白なれば問題はたゞ事の性質如何に在りとして扱その要求の當否を案するに大體に於て目下の急務に屬するもの多きが如し増費の最も大なるものは通信省にして運輸交通の機關を改良又は擴張せんと欲するなり毎度記す如く同省管下の事業は不始末至極にして一も滿足す可きものなし鐵道は至る所貨物滯滯しことて苦情多く郵便電信は過延勝ちにて其不便云ふ可らず電話は千人の客に十人前の諸部を用意したるが如くにして總ての人が何時事車に有付くを得べきや知る可らず要するに一切の規模狭小にして世の需要に應ずる能はず主客共に煩悶するものなれば其擴張改良は急務整備し全國の師範學校、小學校并に實業學校を保護する目的なりと云ふ近年各地とも小學生徒の増加は著しき事實にして教員の不足も數に於て明白なれども市町村會も府縣會も費用を惜で思ふ存分に擴張せす大切なる普通教育も遺憾の點少なからず即ち文部省が補助を思ひ立ちたる所以なる可し自から一理なきに非され中の急なり細目を吟味すれば自から取捨す可き費用もある可しど雖も大體に於ては何人も異議ある可らず次に生計の餘有を生じたると共に他の一方に於て教育の必要を悟り立たる所以なる可し自から一理なきに非されば果して其完備を望む可らざるや否や疑問なれども戰爭後商工業の發達は實に驚異外にして學校出身の人物を要するほど甚だ急なり何程擴成しても引足らざる有様にして隨て出づれば隨て採用し教員までも引出さるも畢竟の始末なれば大學校を始め文部直轄の諸学校とも大に擴張の必要ある可し無駄の増加は免れざるの數なり内務省の部内に於ても多少地方費の増加は必要なのみと目下の急務なる可し府縣に於ては何れ違改するみると目下の急務なる可し府縣に於ては何れ違改するのみなら故に毫も改良する能はずして縣會は殆も縣人養成所の如し世宗の爲めにも國家經濟の爲めにして外務の前途擴張すべきは極も思ひ可風なるなりかからず國庫の負擔に歸するものとして只管その費用を節するのみなら故に毫も改良する能はずして縣會は改める事人養成所の如し世宗の爲めにも國家經濟の爲めにして外務の前途擴張すべきは極も思ひ可風なるなりかからず是の裏面任ひに堪へざるが如し錢が済れば窮之を要するに今は勿論當時に非ず國庫擴張せし如き又甚だ外務の前途擴張するも變遷は嘗て曾幾人か立して是の裏面任ひに堪へざるが如し錢が済れば窮

雇不便も無義なさ次第なれども意中既に餘裕あるに強
ひて粗食して身の健康を害し家門の繁昌を妨ぐる
は智者の事に非ず來年度の豫算を査定するに當り徒
に消極主義を取るは我輩の喜ばざる所なれども然れど
も又その力坂を測らす要求に任せて實際用本るみと能
はざる經費を與ふるが如きは財政上容す可らざる事な
り豫算の金額と實際の入用とを符合せしむるは豫算編
成の巧なるものにして不足を生ずるも剩餘を見るも共
に理財の拙なるものと云ふ可し金錢は費して始めて用
を爲すものにして金庫の内に封じ置けば瓦礫に異なら
ず來年は何程の金を要す可しとて其れだけの錢を用意
しながら實際用ふるみと能はざるは恰も有用の財を殺
すものにして不經濟至極と云はざる可らず政府の歳計
を見るに年々莫大の剩餘を生ずるの例にして二十九年
度の如きは四五千萬圓の豫餘を見る可く本年度も亦或
は同様なる可しと云ふ是には自から事情の存するみ
とて強ち當局者を咎む可らず物價騰貴の爲め材料を
購ふに困難少なからざるのみか世間商工業の繁昌に連
鎖計の内四五千萬圓の過金とは如何にも法外千萬にし
れて人を得るふと容易ならず隨て事業も進まずして此
に豫算の狂ひを生じたるふとなれども二億に足らざる
豫算の内二百萬圓内外に過ぎざる可しとは驚きたる
て世界に珍しき事例なる可し特に急要事業なる電話擴
張、鐵道改良費の如き六百何十萬の豫算額中實際費す
所は僅に二百萬圓内外に過ぎざる可しとは驚きたる
次第にして假令ひ事業は困難なるにもせよ當局者に於
て全く賣なしあとは云ふ可らず必要の事業に錢を借むは
愚なり歳入不足ならば租稅を取て差支なしと雖も同時
に萬ど當局者の腕前を察し餘分の金を與へて失體不經
濟に陥るなからんふと我輩の切に望む所なり

○東京の市政

○六月中の出炭高
六月中の石炭產出高は一千七百萬斤にして内四十四
百五十噸は海外に輸出したり

○軍艦秋津洲
軍艦秋津洲 本日入港せり

○平野紡績四割の配當
本日平野紡績會社の定式總會にて決算の報告終り更
に資本金五十萬圓を増加して都合百萬圓と爲すの件
を議論せしに株主中には時節性事業の擴張は暫らく
見合はせ此際配當を多くされたしと希望するもの多
く增资は遂に見合はせとなり當季の配當は年二割の
筈なりしに更に年二割の特別配當を加へ即ち年四割
の配當を爲す事となれり

○豊川鐵道開業
豊川鐵道開業式終り來賓一同列車にて豊川に起り
當地にては空前の盛況なりき

(以上十三件一昨日號外再録)

○東京の市政 (二二)
帝都の街路

都會の主眼とするところは街路なり街路の完全にして
清潔なるは當に其市街の美を飾るのみに非ずして實に
其都市の人の品格氣象を示すものと云ふも可
なり外國人なぞが先づ着眼して國民の氣風貧富を察す
るの材料とするものは首府の市街なる可し例へば我國
人の海外に遊ぶものが歸國の物語には必ず彼地の首都
を云々するが如く外國人の我國に來るものも第一に帝
都の模様を土産として歸るあと猶ほ日光を見物して
日本美術の評判をうかがふが如し然るに我國の市街は果
して外國人に示して耻づかしからざるや否や朝鮮人さ
へ雨天の時には感心せずと答へし由、況して其他の國
人に至りては只驚くのみにして或は家鶴の爲めには甚
だ善かるべしと評せしものもありしどい實に家鶴の
人の評判は兎も角も之が爲め市民の不便不都合及び損
害をば黙視す可らず舊江戸政府の時代には四宿より出
入する旅人は苦草鞋穿にて其數も甚だ少なく市内には
人力車なく馬車なく鐵道なく汽船なく夜に入れば一町
毎に木戸を閉ぢて全市寂寥恰も死せるが如くなれば街
路の修繕にも左程金を費さずして済みたるならんも尙
ほ且つ道路の中央中間は政府の普請として毎年之行
ひ其左右は地主が自費を出して相應に手入したりと云
ふ然るに死せるが如き開拓の江戸府に代りて勢ひ活潑
なる東京の市街は如何といふに晴天の日は沙漠の如く
雨天の節は沼澤の如く車輶は大河を爲して所々に湖水
を現出し人倒れ車覆ひて大切な貨物を沈没れど爲
し又は怪我するもの日に幾何なるを知る可からず苦情
百出すと雖も市參事會を始めとして市會議員等は車輶
に之を改良せんともせず政府も亦之を以て雪煙過眼鏡
するのみそ奇怪なれ今左に東京全市の開拓と市街道路の
關係を記す可し(廿九年調査)

即ち現今の東京市にて道路敷地に充つて、従て道路の面積は如何なる財源とふるにては毎年歳修繕するに過ぎずは五年目に一度宛に昨今兩年度の土に廿九年度決算